

【ご飯盛り付けロボットに対する“初”の意識調査】鈴茂器工

飲食店を中心に導入が進んでいる“ご飯盛り付けロボット”
5人に1人となる22.3%が使用経験あり

～「しゃもじでご飯をよそう時に後ろに人がいると焦ってしまう…」という回答も～

鈴茂器工株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：鈴木美奈子、以下 鈴茂器工）は、全国の20歳～69歳の男女400名を対象に「ご飯盛り付けロボットに関する調査（2023年）」を実施しました。飲食店などの外食産業やホテルなどの宿泊業、給食事業を中心に人手不足対策の打ち手としても導入が進んでいるご飯盛り付けロボットに関する実態調査を今回初めて実施し発表いたします。この度、外食の際に“ご飯を盛り付ける”という行為で、ロボットだからこそ提供できる価値と、ロボットを実際に使用するお客様が期待することを調査し可視化しました。

調査結果サマリー

○外食をする人の半数（50.7%）は外食の際に提供されるご飯（ライス）を重視する傾向にある。特に、外食頻度が高い人ほどこの傾向が高い。

○年1回以上の外食者の約6割と半数を超える人が、外食の際に提供されるご飯（ライス）について何かしら「がっかり」してしまった経験がある。

○年1回以上の外食者の5人に1人となる22.3%がご飯盛り付けロボットの使用経験あり。いわゆる、キャズム（普及の壁）と言われる16.0%は越えたか!?

○ご飯盛り付けロボットの提供価値は外食ユーザーのニーズにマッチ。

がっかり経験者は、「適量」「炊飯ジャー蓋の開閉」「温かい」ご飯の提供により魅力を感じている。

ご飯盛り付けロボット経験者は、「しゃもじ不使用」「炊飯ジャー蓋の開閉」の利便性に魅力を感じている。

○ご飯盛り付けロボットの活用を期待するシーンは多岐にわたる。

がっかり経験者やご飯重視層ほど、より多くのご飯提供場面でご飯盛り付けロボットの活用を期待している。

調査対象について

年1回以上の外食者（N=345）

全国の20～69歳の男女400名にWEBアンケートを実施したところ年1回以上の外食者は86.3%（N=345）となった。

今回は、この年1回以上の外食者をベースに以降の調査を進めていくこととする。

■ 調査概要

調査手法：インターネットリサーチ

調査対象：20～69歳の男女

調査期間：2023年7月28日～29日

有効回答数：本調査400サンプル

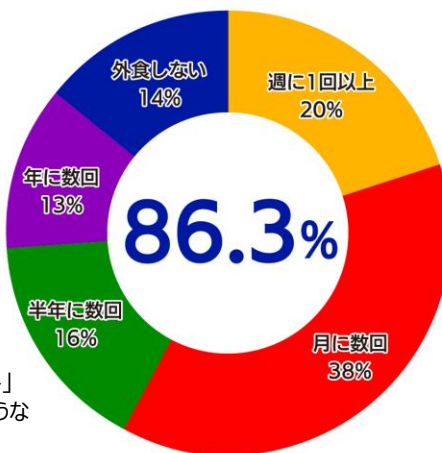
年1回以上外食経験者345サンプル

ご飯盛り付けロボット定義：googleなどで「ご飯盛り付けロボット」と画像検索をした際に表示されるような製品群。

本調査では上記の定義を設問時に掲載。特定の製品の画像提示は無し
※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります。

■ ご飯盛り付けロボットに関する調査項目

□外食頻度 □ご飯重視度 □ご飯盛り付けロボット使用経験 □ご飯盛り付けロボット魅力点（MA/SA） □ご飯盛り付けロボット使用意向 □使用意向理由（自由記述） □ご飯盛り付けロボットが活用されてたら良いと感じる場面（MA/SA） □外食の際にご飯で「がっかり」したこと



	N	%
週に1回以上	80	20.0%
月に数回	151	37.8%
半年に数回	64	16.0%
年に数回	50	12.5%
外食しない	55	13.8%
合計	400	

調査対象：20歳～60歳の男女/全国（N=400）
鈴茂器工ご飯盛り付けロボットに関する調査（2023）

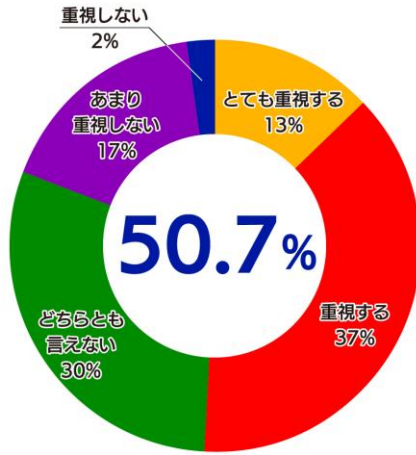
■ **外食をする人の半数（50.7%）は外食の際に提供されるご飯（ライス）を重視する傾向にある。**
特に、外食頻度が高い人ほどこの傾向が高い

外食の際ご飯を重視する層（N=175）

外食の際にご飯（ライス）をどの程度重視するかを聞いたところ約半数となる50.7%の人が重視すると回答。

また、外食頻度が高い人ほどご飯を重視する傾向にあり、**週1回以上の層で65.0%、月に数回の層で54.3%、半年に数回の層で39.1%、年に数回の層で32.0%**という結果となった。

改めて、**外食を美味しく楽しむ際にはご飯が重要な役割を占めていることがわかった。**



	N	%
とても重視する	46	13.3%
重視する	129	37.4%
どちらとも言えない	104	30.1%
あまり重視しない	58	16.8%
重視しない	8	2.3%
	345	

調査対象：年1回以上外食者（N=345）
 飲食店にご飯盛り付けロボットに関する調査（2023）

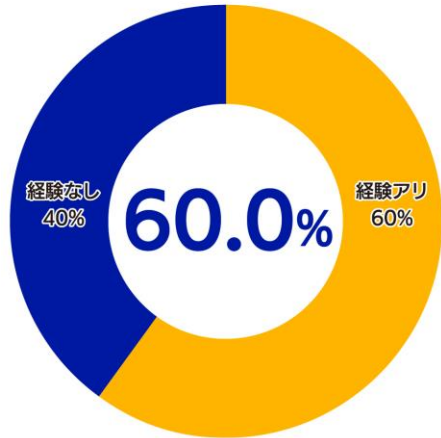
■ **年1回以上の外食者の約6割と半数を超える人が、外食の際に提供されるご飯（ライス）について何かしらがっかりしてしまった経験がある。**

外食の際 ご飯でがっかりした経験がある層（N=207）

年1回以上の外食者に、外食で提供される「ご飯（ライス）」について、「がっかりしたこと」や「困ってしまったこと」を聞いたところ、約6割の人が何かしらのがっかり経験があると回答。

- 「**ご飯（ライス）が固かった**」22.9%
 - 「**食べたい量よりも多いor少ないご飯（ライス）が提供された**」20.3%
 - 「**ご飯（ライス）が乾いていた**」17.4%
 - 「**ご飯（ライス）が冷えていた**」16.8%
- などが上位を占めた。

また、その他の自由記述には、「**ご飯がやわらかい**」や「**ベチャベチャしていた**」など、炊飯ジャー蓋の開閉による水滴や、しゃもじにご飯がこびりつかないように水に入れて管理していることなどによる、**現状の提供方法の限界による潜在的な不満**が感じとれる結果となった。



がっかりした理由 (複数選択、自由記述可)	N	%
ご飯(ライス)が固かった	79	22.9%
食べたい量よりも多いor少ないご飯(ライス)が提供された	70	20.3%
少ないご飯(ライス)が提供された		
ご飯(ライス)が乾いていた	60	17.4%
ご飯(ライス)が冷えていた	58	16.8%
他人の手が触れていた	29	8.4%
異物が混入していた	21	6.1%
その他	9	2.6%
がっかりした 経験なし	138	40.0%
	345	

調査対象：年1回以上外食者（N=345）
 飲食店にご飯盛り付けロボットに関する調査（2023）

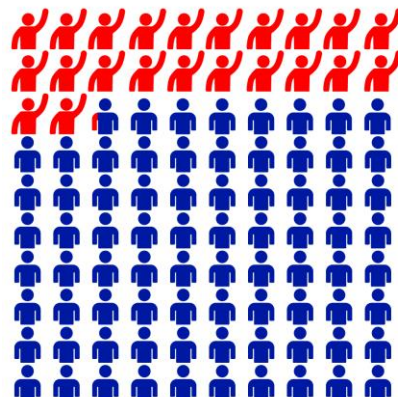
■ **キャズム（普及の壁）と言われる16.0%は越えたか!?**

5人に1人となる22.3%がご飯盛り付けロボットの使用経験あり。

ご飯盛り付けロボットの使用経験アリ層（N=77）

年1回以上の外食者に、ご飯盛り付けロボットの使用経験を聞いたところ、5人に1人となる22.3%の人が使用経験ありと回答。

飲食店やビュッフェ・バイキングなどのセルフサービスでも導入が進んでおり、お客様が直接、見る・触れる機会が増えてきたためと考えられ、外出制限が緩和された今年2023年の夏休みなどの影響もあり、今後の外出機会の増加による外食機会の増により使用者は増加していくと考えられる。



22.3%

	N	%
ある	77	22.3%
ない	268	77.7%
	345	

調査対象：年1回以上外食者（N=345）
 飲食店にご飯盛り付けロボットに関する調査（2023）

■「しゃもじでご飯をよそう時に後ろに人がいると焦ってしまう…」

ご飯盛り付けロボットの使用意向理由をピックアップ！！

年1回以上の外食者に、ご飯盛り付けロボットの使用意向を聞いたところ、「使用したい」「やや使用したい」の合計は47.5%となり約5割となった。

使用意向理由（自由記述）を確認したところ、「ご飯を盛り付ける」という行為自体が、比較的手軽に行える行為という認識のため、ロボットによる機械化によるメリットや手盛りとの差のイメージがついていないという課題が抽出された。

一方で、**ご飯盛り付けロボット使用経験者では68.8%、ご飯重視層では60.6%となり使用意向は高まる傾向**にあった。使用意向理由を見ると、**ご飯盛り付けロボットが提供できる価値を自分達が外食の空間をより楽しむために活用できるイメージ**がもたれている回答が印象的に感じられた。

しゃもじでご飯をよそう時に後ろに人がいると焦ってしまうので、ボタンを何度か押して適量が取れる方が困らない。
旅館で各部屋で食べるときはしゃもじが良いが、食べ放題で多人数の時は、機械でよそったほうが回転が良い。（女性40代）

ロボットのエンタメ性はとても好きだから潔癖症のため、この矛盾点に悩みを持っているから。（女性20代）

定食のごはんはいつも多いと感じ、残すのももったいないので無理して食べている。自分の適量をつけるのはよい（女性40代）

ロボットもそれはそれで面白いかなと思う。むしろエンターテインメント性を出してくれたら、結構、受け入れられる。ホテルもときどき、人間が受付しないやつを泊まることもあるので。（女性60代）

他人が触れたものに触れなくて済むので、衛生的だと思ったからです。コロナやインフルエンザ、RSウイルス等が流行っている中でも安心して食事が楽しめるのが良いと思いました。（男性30代）

ご飯を盛る行為が楽しくなる（女性20代）

ふっくらとしたご飯が食べれて、毎回炊飯器を開けなくて良いのはうれしいので。（女性40代）

好きな量を食べられること、機械なので気を使わないで済むこと。（男性60代）

■ご飯盛り付けロボットの魅力点 TOP3

- 1位「自分の食べたい分だけ適量盛れる」
- 2位「温かいご飯を食べられる」
- 3位「炊飯ジャーのように都度、蓋を開閉しない」

ご飯盛り付けロボットの提供価値は外食ユーザーのニーズにマッチする結果に。

年1回以上の外食者に、ご飯盛り付けロボットの良いと感じる点を複数選択で聞いたところ、「自分の食べたい分だけ適量盛れる」36.2%、「温かいご飯を食べられる」30.7%、「炊飯ジャーのように都度、蓋を開閉しない」28.7%などが上位を占める結果となった。

ご飯盛り付けロボット経験者では、

- 「しゃもじ不使用」39.0%
 - 「都度、蓋を開閉しない」35.1%
- と、実際に使ってみて感じられた**使い勝手の良さ**が評価される結果となった。

ご飯がっかり層では、

- 「適量盛れる」43.0%、
 - 「温かいご飯」37.7%、
 - 「都度、蓋を開閉しない」37.7%
- と、こちらも過去の**がっかり経験に対する解決策**として、**ご飯盛り付けロボットに期待**をしていることがわかった。

ご飯盛り付けロボットの魅力点

魅力点ランキング（複数選択、年1回以上外食者でソート）

	年1回以上外食者 N=345	がっかり経験アリ N=207	ご飯重視層 N=175	ロボット使用経験者 N=77
自分の食べたい分だけ適量盛れる	36.2%	43.0%	40.6%	32.5%
温かいご飯を食べられる	30.7%	37.7%	32.4%	29.9%
炊飯ジャーのように都度、蓋を開閉しない	28.7%	37.7%	32.9%	35.1%
しゃもじ不使用	27.8%	31.9%	29.0%	39.0%
センサーでボタンを触れることなく押せて衛生的（非接触）	26.7%	31.9%	27.5%	27.3%
ご飯をバラバラふっくら盛り付けてくれる	26.1%	30.9%	29.0%	24.7%
素早く盛り付けできる	24.6%	27.5%	26.6%	23.4%
機械が盛り付けてくれることで人の手を極力介さない	24.3%	27.5%	23.7%	27.3%
飛び散らかりが少ない	24.3%	26.6%	27.1%	27.3%
子供でも使える	15.7%	16.9%	15.9%	19.5%
機械で盛り付ける楽しさ/エンタメ性	14.2%	17.9%	14.0%	13.0%
あてはまるものはない	18.3%	7.7%	9.7%	6.5%

■ より多くのご飯提供場面で活躍が期待されるご飯盛り付けロボット!! ご飯盛り付けロボットが活用されていたら良いと感じる場面について

ご飯盛り付けロボットが活用されていたら良いと感じる場面を聞いたところ現在、主としてご飯盛り付けロボットが活躍している定食やレストラン、ビュッフェ・バイキング以外にも、様々な場面で求められていることがわかった。

「**おかわり頻度が多い**」「**定員さん（スタッフ）が少ない**」「**提供時間の速さがウリ**」「**フードコートなどの回転が速い**」などキーワードにあてはまるお店は要注目である

特に、ご飯重視層やご飯がっかり経験有層は、ご飯に対して失敗したくないという想いが感じれることから、これらの層のニーズを満たすには、**安定したおいさをスピーディーに提供できるご飯盛り付けロボットは、解決策の一手として適していると感じられる調査結果となった。**

ご飯盛り付けロボットの活用されていたら良いと感じる場面

活用されていたら良いランキング（複数選択、年1回以上外食者でソート）				
	年1回以上外食者 N=345	がっかり経験アリ N=207	ご飯重視層 N=175	ロボット使用経験者 N=77
人がたくさんいるようなお店（ビュッフェ・バイキング）	40.0%	45.9%	49.7%	46.8%
おかわりの頻度が多いようなお店（定食、レストランなど）	38.3%	47.3%	38.9%	37.7%
店員さん（スタッフ）の数が少ないようなお店	37.1%	43.0%	43.4%	33.8%
提供の時間/速さがウリになっているようなお店	34.5%	37.2%	44.6%	31.2%
フードコートなどの回転の速いお店	20.3%	26.1%	25.7%	26.0%
タレやルウと“ご飯”の相性が主役のお店（焼肉、丼、カレーなど）	18.3%	23.7%	22.3%	26.0%
ご飯がサブなお店（ラーメン、うどんなど）	17.7%	19.3%	25.1%	22.1%
漫画喫茶などの飲食がメインではないお店	10.7%	13.5%	14.3%	18.2%
あてはまるものはない	18.8%	9.2%	10.9%	7.8%



鈴茂器工ご飯盛り付けロボットに関する調査（2023）

鈴茂器工が提供するご飯盛り付けロボットFuwarica（ふわりか）について

Fuwaricaは、ご飯盛り付けのニューノーマルに対応したご飯盛り付けロボットです。

ご飯を練らずに やさしくほぐし、ボタンを押すだけで定量のご飯をふんわり自動で衛生的に盛り付けることが出来る

Fuwarica は、おむすびの製造に対応したオプションの開発や保温・保湿機能の強化など、お客様のニーズにお応えし進化を遂げてまいりました。2023年には、最新機種Fuwarica GST-RRAを発売し多くの企業様に導入をいただいております。Fuwarica は、これまでの進化を継承し、大型液晶タッチパネルの採用による見やすさ・使いやすさの向上、保温・保湿性能の強化、ご飯の残量表示や連続盛り付け機能を装備するなど、ご飯を盛り付ける 様々なシーンで更に使いやすくなりました。

Fuwaricaシリーズを通じて、様々な業種業態のご飯提供シーンのニーズに応えられる豊富なラインナップを揃えております。

ご飯盛り付けロボットシェアNo.1（出典：富士経済：「2022 年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望」米飯盛り付けロボット 販売金額・台数 2021 年実績）を獲得し、業界でも注目を集めております。

ご飯盛り付けロボットFuwarica特設サイトでは、Fuwaricaを実際に導入している企業様の事例（ユーザー様の声）を掲載しております。是非この機会に併せてご確認ください。

Fuwarica特設サイト： <https://www.fuwarica.info/>

Fuwarica シリーズ



ライス盛付け機

Fuwarica



Fuwarica シリーズ最上位機種



● 本件に関するお問い合わせについて ●

鈴茂器工株式会社 東京事業所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北2-23-2

担当：企画本部 マーケティング部 TEL：03-3993-1457 E-Mail：marketing@suzumo.co.jp

<引用・転載時のクレジット表記のお願い>

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例>「鈴茂器工株式会社が実施した調査によると…」

本リリース記載以外の調査データについてのお問い合わせや確認については、担当までご連絡をお願いいたします。